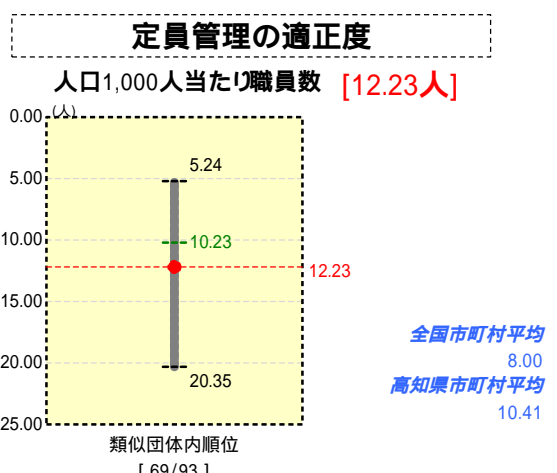
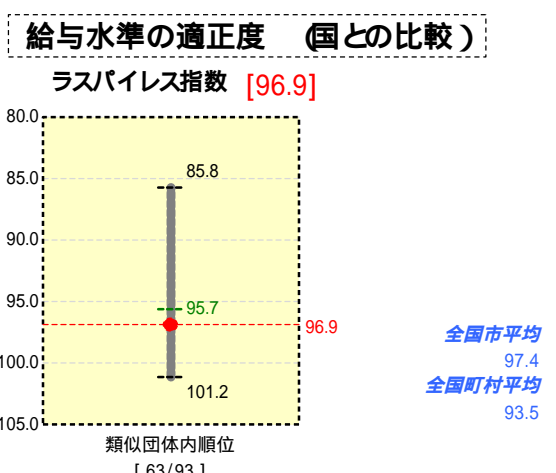
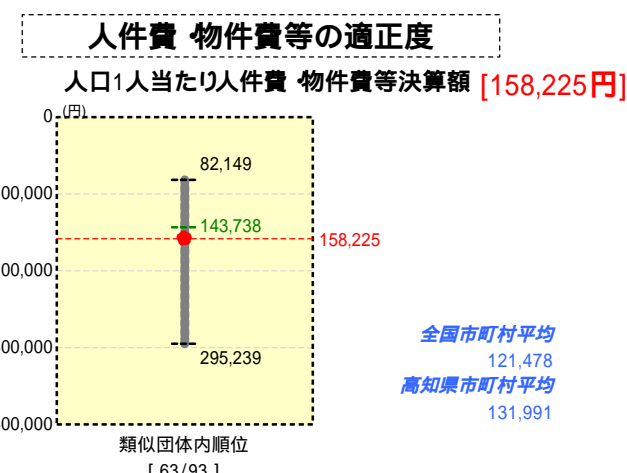
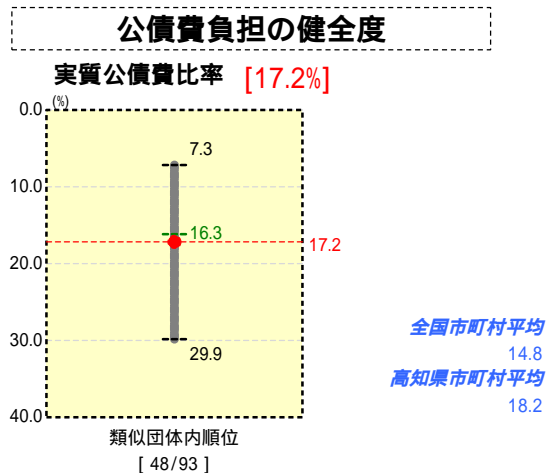
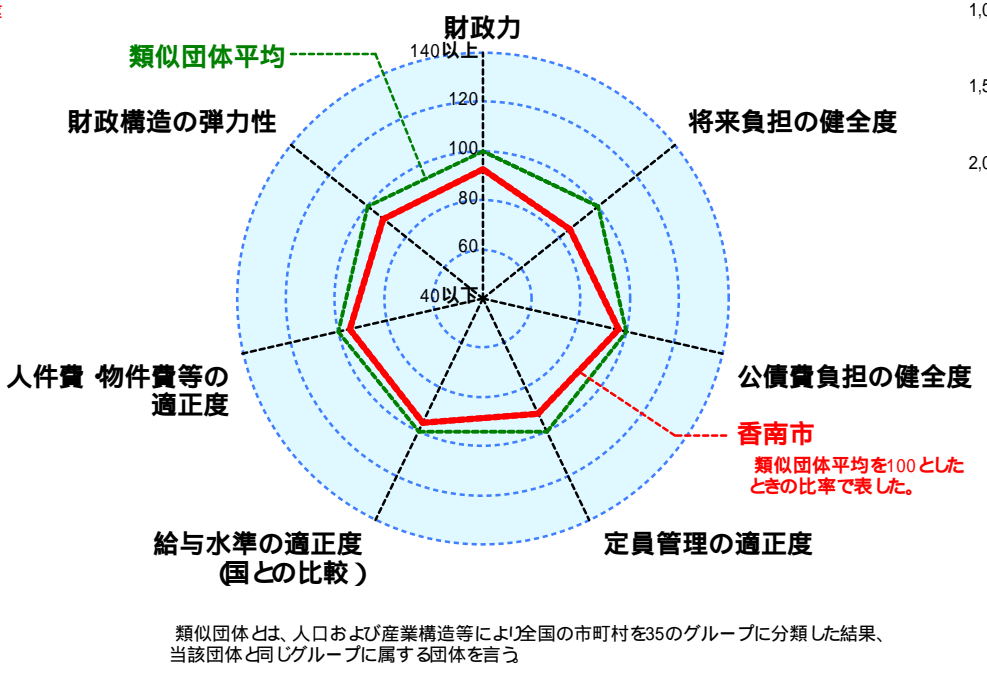
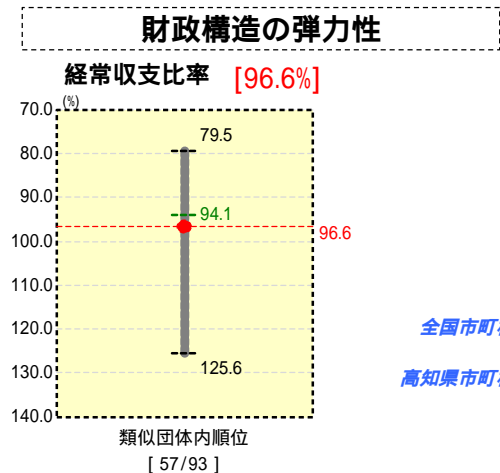
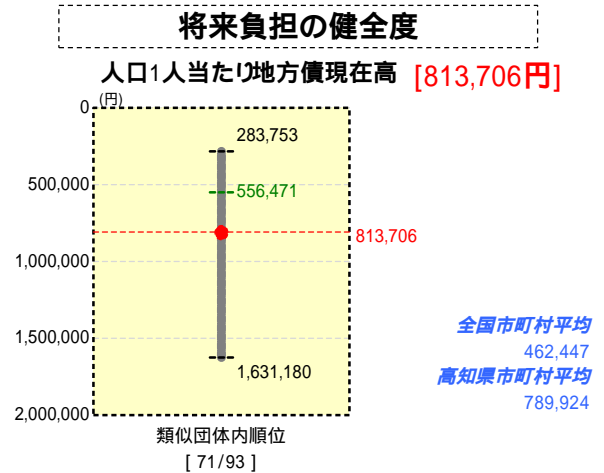
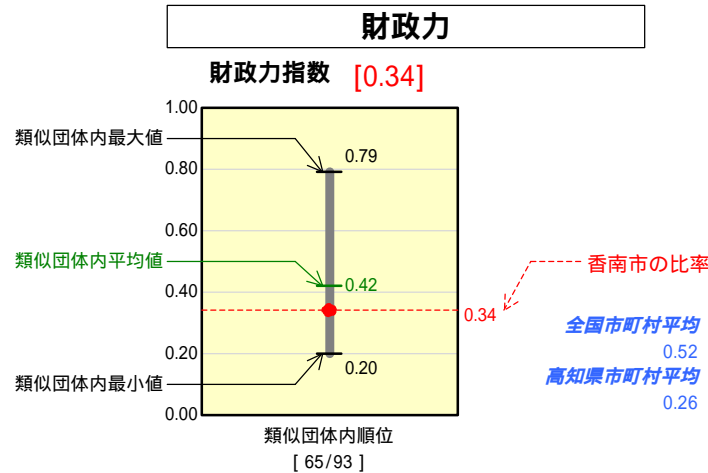


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

高知県 香南市

人口	34,186	人(H18.3.31現在)
面積	126.76	km ²
歳入総額	18,164,530	千円
歳出総額	17,558,522	千円
実質収支	437,224	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 平成18年3月1日合併により香南市となり、類似団体平均を下回る0.34となった。本庁舎が所在する旧野市町地域は近年農地の宅地化等が進み人口増となっているが、他地域では人口の減少や高齢化が依然進んでいる状態であり効果的な増収は望みにくく、また市制施行により生活保護費など新たに経常経費も増加となっている。適正な定員管理や補助費等の見直しといった経常経費削減、中期財政計画に基づく緊急に必要な事業の実施により投資的経費を抑制するなど、歳出の見直しを行っていくとともに、地方税の徴収業務の強化など歳入確保に努める。

経常収支比率 合併以前に旧団体で実施してきた地域改善対策事業や国体のための施設整備事業等により、多額の地方債を発行してきたことによる公債費の伸びや、下水道事業や老人保健事業など特別会計繰出金が伸びている反面、国の施策による普通交付税、臨時財政対策債の削減により、類似団体平均を上回る96.6%となっている。今後とも、市単独補助金・負担金や各種委託料などの見直しを実施するなど、経常経費の削減に努める。

実質公債費比率 合併以前に旧団体で実施してきた普通建設事業費に係る起債の償還等に併い上昇し、類似団体平均を上回る17.2%となっている。今後も消防庁舎建設や本庁舎建設などが予定されており新規地方債の発行が見込まれるが、償還額とのバランスをとりながら公債費の適正な管理を行うとともに、高金利債の借換えや繰上償還を行うなど財政の健全化に努める。

人口一人当たり地方債現在高 類似団体平均を上回り、高知県内市町村平均も上回る数値となっている。合併以前

に旧団体で実施してきた普通建設事業や合併に伴う準備事業としての合併推進事業などにより地方債の発行額が増加してきたためである。今後も消防庁舎建設や本庁舎建設といった建設事業が予定されており、新規の地方債発行が見込まれているため、他事業における新規発行の抑制や経常経費の削減など財政の健全化に努める。

人口一人あたり人件費 物件費等決算額 平成17年度は、合併のための準備経費が必要であったこと、学校給食事業を一般会計へ組み入れたことなどにより、物件費が増額となっており、また合併に伴い一部事務組合の人件費、物件費等が香南市決算として統合されており、類似団体平均を上回っていると考えられる。今後は、物件費の削減、適正な定員管理による人件費削減など、これらの経費抑制に努めていく。

ラスパイルズ指数 合併前は一団体を除き、給与カットを行っているためラスパイルズ指数は96.9になっているが、合併後は現時のところ給与カットを行ってならず、また職員数も増えたため数値は上がると考えられる。今後、教育委員会、消防署等については質を維持しつつ、市長部局の職員数を削減、給与の適正化に努め、人件費の縮減努力を行う。

人口1,000人あたり職員数 平成18年3月1日に5町村4団体が合併したことにより、類似団体平均を超えている。今後、集中改革プランの定員適正化計画に従い、保育士、幼稚園教諭は現在の職員数から微増、消防士の職員数は現状維持し、一般行政職、現業職はそれぞれ9%、2.8%の減を目指す。